

二〇一七年度 青森明の星高等学校入学者選抜学力検査

国語

注 意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 答えを漢字で書く場合は、楷書^{かいしよ}で書きなさい。
- 6 机の上には、受検票・えんぴつ（シャープペンシルも可）・消しゴム・えんぴつけずり以外の物を置いてはいけません。
- 7 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 8 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 9 印刷が悪くて分からないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 10 監督者の「やめ」という合図ですぐにやめなさい。

1 放送による検査 (15点)

【資料】フリップ (説明に用いる、図や絵、言葉などを書いた大型のカード。)

資料 1

評価項目

外観・香り・味・粘り・硬さ・総合評価

ランク

特A > A > A' > B > B'

資料 3

『青天の霹靂』の意味

故事成語
「青く晴れ渡った空に突然雷鳴がとどろくこと」

現代
「予想していなかった事件や出来事が突然おこること」

資料 2

特A米

○ 新潟「コシヒカリ」

○ 北海道「ゆめぴりか」

○ 秋田「あきたこまち」

資料 4

産地の長所

① 水→ミネラル豊富な雪解け水

② 土→堆肥による健康な土

③ 気候→寒冷のため害虫が少ない

資料 5

まとめ

調べてわかったこと

A

思ったこと

B

2 次の(1)、(2)に答えなさい。(15点)

(1) 次のア～オの——の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コのカタカナの部分^{かいいしよ}を楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 祖父は信心深い。

イ 心のこもった接待を受ける。

ウ 友人の意見に共鳴する。

エ 挙句の果て。

オ 易しい問題から解く。

カ アメリカ大陸をジュウダンする。

キ ニッショウ時間が長い。

ク 無理をショウチでお願いする。

ケ ココロヨい調べに耳を傾ける。

コ 勇気をフルい起こす。

(2) 次のア～オの――の部分の漢字として最も適切なものを、それぞれあとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を書きなさい。

ア 新しい土地でシンキ一転、事業を始める。

- 1 新規 2 振気 3 心機 4 心気

イ 児童ケンショウが制定される。

- 1 検証 2 健勝 3 顕彰 4 憲章

ウ 歴史学をセンコウする。

- 1 専攻 2 先行 3 選考 4 専行

エ ヘイオン無事な生活を送る。

- 1 隠 2 温 3 恩 4 穩

オ 資料からのパススイ部分。

- 1 遂 2 粹 3 垂 4 推

3 次の【漢詩】を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。(12点)

【漢詩】

(注1) 元二の安西に使ひするを送る

王維

(注2) 渭城の朝雨輕塵を過す

渭城朝雨浥輕塵

(注3) 客舍青青として柳色新たなり

客舍青青柳色新

君に勸む更に尽くせ一杯の酒

勸君更尽一杯酒

(注4) 西のかた陽関を出づれば故人無からん

西出陽関無故人

(注1) 元二……作者王維の友人。 (注2) 渭城……秦の首都咸陽のこと。

(注3) 客舍……旅館。 (注4) 陽関……敦煌の西南に置かれた関所。

(注5) 故人……古くからの友人。

(1) ある生徒が、【漢詩】の内容について次のようにまとめました。

は十字以内で、
A B
は十五字以内で、それぞれ書きなさい。

渭城の朝に降る雨は軽い塵をしめらせ、旅館の前の柳の木は青々と
して、A。さあ君よ、B。ここから西の方
の陽関を出てしまえば、もう古くからの友人もいなくなるだろうから。

(2) 渭城朝雨浥輕塵に、書き下し文を参考にして、返り点をつけ
なさい。

(3) 【漢詩】にこめられた思いとして最も適切なものを、次の1～4の中か
ら一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 旅愁 2 惜別 3 無常 4 感謝

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から

掲載いたしません

—— 豊田清一「わかりやすいはわかりにくい?」『臨床哲学講座』より ——

(注1) 含蓄……言葉の表面に表れない深い味わいのこと。

(注2) 韻律……物事がうまくかみあわないこと。

(1) じっくりと同じ品詞であるものを、次の1～4の——の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 美しい音楽を聴く。
- 2 きれいな月夜を拾う。
- 3 父がゆっくり話す。
- 4 あらゆる方法を試す。

(2) ① 憎まれ口を叩く。とありますが、これはどのようなことを述べていますか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 相手の成長を願って正しいことを教えること。
- 2 相手の態度に腹を立てて暴言を吐くこと。
- 3 相手を嫌うあまり口を利かなくなること。
- 4 相手から悪く思われる態度で接すること。

(3) ② 時間をあげる。について次のようにまとめました。——に入る適切な内容を、本文中から二十二字でそのまま抜き出して書きなさい。

「時間をあげる」とは、相手に自由な時間を与えるという意味ではなく、——という前提のもとに、最後まで相手の話につきあうという意味である。

(4) ——に入る最も適切な語句を、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 感心する才能
- 2 はぐらかす技術
- 3 論理的な話術
- 4 ぞんざいな態度

(5) ある生徒が、この文章中の具体例と筆者の主張の対応について、次の表のようにまとめました。——A——、——B——に入る適切な内容を、本文中の語句を用いて、——A——は五十文字以内で、——B——は十字以内で、それぞれ書きなさい。

具体例	筆者の主張
絵本をせがむ幼児	自分の存在がだれかの意識の宛て先になっていることが重要である。
日々の会話	——A—— 「感情があれば、子どもは口から言葉はおのずから漏れてくる。」
河合隼雄の言葉	わたしはあなたに関心があるという信号を繰り返し送ることが大切である。
接客業のプロ	——B——をよく理解して、相手突き放したり、はぐらかしたりする。

5 次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から
掲載いたしません

この部分は著作権の問題から 掲載いたしません

この部分は著作権の問題から 掲載いたしません

—— 浅田次郎「角書にて」より ——

(注1) 鍵石……コンクリート等に文字や絵をかく筆記用具。

(注2) ゼロ戦……戦闘機。

(注3) 立敷……大学の名前。

(1) 飲¹ん、行²く、通³じ、抱⁴い、 の中で動詞の活用の種類が他と異なるものを一つ選び、その番号を書きなさい。

(2) おねがいます、と言いたかったが、声にはならなかった。とありますが、「おねがいます」と言えなかったのはなぜだと考えられますか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 父と離れたくなかったが、あまりにも自分勝手な言い方なので怒りがこみ上げて、言葉にならなかったから。
- 2 泣いてすがれば父の決心は揺らぐかもしれないが、恭一にも子供なりの自尊心があったから。
- 3 いつも父の言うことには逆らわなかったで、黙って聞いているほうが得策だと思ったから。
- 4 父の親類の家に行くことに抵抗があり、どうしても行きたくなかったから。

- (3) [㊦] ここで待つてゐるよ。ずっと待つてゐるから、ここに戻つてきて とありますが、「恭一」がこのように言つた具体的な理由を述べている部分を、次の文中の にあてはまるように十五字以内でそのまま抜き出して書きなさい。

戻つてこなければ、ぼくは 。

- (4) [㊦] 店員 の人間像として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 父を待ち続ける恭一の心情を理解し、思いやりを示す人物。
- 2 絵を描き続ける恭一の行為に、最後まで付き合う我慢強い人物。
- 3 恭一の動向に気を配り、店への配慮を忘れない注意深い人物。
- 4 父を待つ恭一を叱つたことを気にする繊細で小心な人物。

- (5) [㊦] 店々の灯もあらかた消えた舗道には、野良猫が群れていた とありますが、この描写の効果として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「店々の灯」と「消えた舗道」を対比して、時間の経過を明確にし、父がいなくなったことを強調する効果。
- 2 それまで順調だった生活を「店々の灯」にたとえ、街灯の「消えた舗道」に取り残された「野良猫」に自分の暗い気持ちを投影する効果。
- 3 「野良猫が群れていた」の描写により、その後のまたいここ達との楽しい団らんを暗示する効果。
- 4 「舗道には野良猫が群れていた」ことを振り返つて見たことによつて、無事に最終バスに乗り込めたという安心感を表す効果。

- (6) [㊦] 小さな久美子に腰を抱きしめられたとき、恭一は腕を喉に当てて、初めて泣いた とありますが、この表現についてまとめた次の文章の に入る適切な内容を五十字以内で書きなさい。

当時、八歳だった恭一は、母を亡くした上に父までもが家を出ていくという現実を受け止められなかった。父を待ち続けた角筈のバス停を後にし、淀橋の伯父宅に向かったが、バス停に迎えにきた伯母の優しさと走り寄ってきた久美子に、 ことを理解し、涙が止まらなくなった。

- (6) [㊦] 内閣府が行つた「平成二十七年青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、中学生の携帯電話・スマートフォンの所有率は60.9%です。そこで、ある中学校で「携帯電話やスマートフォンを正しく使うには」という題で意見文を書くことになりました。あとの(1)～(3)に従つて文章を書きなさい。(10点)

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、第一段落では、「携帯電話やスマートフォンの正しい使い方」の具体例を書き、第二段落では、その具体例をふまえて自分の意見を書くこと。
- (3) 百五十字以上、二百字以内で書くこと。